



パキスタン・イスラム共和国 (Islamic Republic of Pakistan)



- パキスタンへの援助総額は2014年までに累計1兆2,937.73億円。
- 2009年4月には、ドナーや友好国の協力を得て、パキスタン支援国会合及び同フレンズ会合を東京で開催し、経済改革やテロ対策に取り組む同国の平和と安定のための支援を実施。
- 2005年のパキスタン大震災、また2010年の大洪水の際には、国際緊急援助隊として医療チームや自衛隊部隊を派遣し、人的貢献を実施。

国概要

(基礎データ)

- 面積: 79.6万平方キロメートル
- 人口: 1億8,802万人(2013/14年度)(世界第6位)
- 首都: イスラマバード
- 民族: パンジャブ人(56%), パシュトゥーン人(16%), シンド人(13%), バローチ人(4%)
- 言語: ウルドゥー語(国語), 英語(公用語)
- 宗教: イスラム教(国教)が大多数
 - ・イスラム教徒(97%) (スンニ派が多数派)
 - ・その他(キリスト教徒, ヒンドゥー教徒等)
- 政体: 連邦共和制
- 議会: 2院制
- GDP: 約2,699億ドル(2015年, 世銀)
- 一人あたりGNI: 1,440ドル(2015年, 世銀)
- GDP成長率: 4.2%(2014/15年度, 経済白書)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

1947年	英領インドより分離独立
1947年	第1次印パ戦争
1952年	日・パキスタン国交樹立
1965年	第2次印パ戦争
1971年	第3次印パ戦争(東パキスタンが Bangladesh として分離独立)
1998年	パキスタン核実験
1999年	ムシャラフ陸軍参謀長によるクーデター
2005年	パキスタン大地震
2013年	総選挙, シャリフ首相就任, フセイン大統領就任

援助実績(E/Nベース)

スキーム	額(累計) / 人数(延べ)
円借款	9,809.93億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	2,594.86億円 (2014年度末時点)
技術協力	532.94億円 (2014年度末時点)
青年海外協力隊	延べ164人
シニア海外ボランティア	延べ54人

出典: ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)
(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

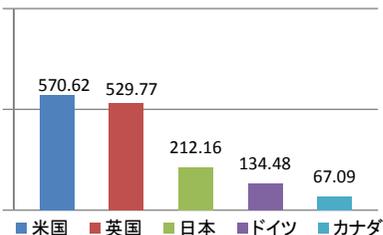
経済関係

スキーム	金額 / 人数(直近年)
日本からパキスタンへの輸出	1,556百万ドル (2014年, 財務省)
パキスタンから日本への輸出	319百万ドル (2014年, 財務省)
日本からパキスタンへの直接投資	約18.1百万ドル (2014/15年, 経済白書)
在パキスタン日系企業数	82社 (2015年, 財務省)

人的つながり

項目	人数(直近年)
パキスタンにおける在留邦人数	968人 (2015年, 外務省)
在日パキスタン人数	12,708人 (2015年, 法務省)
パキスタンから日本への留学生数	257名 (2015年, 法務省)

主要ドナーの対パキスタン経済協力実績 (2013年, 出典: ODA国別データブック2015) (単位: 百万ドル, 支出総額ベース)



日本とパキスタン・イスラム共和国との協力年表

年代	案件
1947年	英領インドより独立 第1次印パ戦争
1952年	日パキスタン国交樹立
1954年	コロンボプランに基づく研修生の受入れから経済協力を開始
1959年	日パキスタン租税条約発効(2008年に全面改訂)
1961年	日パキスタン友好通商条約発効 円借款を開始
1970年	無償資金協力を開始
1998年5月	核実験に伴い、新規円借款及び無償資金協力を停止 ※但し、緊急・人道的性格の援助及び草の根無償資金協力は除く
2001年10月	同措置の停止、無償資金協力を再開
2001年11月	テロ特措法に基づく無償資金協力(2年間で3億ドル支援) ※米国同時多発テロ以降の国際的連携強化のためのアフガニスタン周辺国支援の一環
2002年	日パキスタン投資保護協定発効
2005年8月	新規円借款を再開
2005年10月	北部大震災に対する緊急人道、復旧復興支援(計1.9億ドル)
2009年4月	パキスタン支援国会合を東京で開催(2年間で最大10億ドル支援)
2010年	大洪水に対する緊急人道、復旧復興支援(計5.68億ドル) ※パキスタン建国以来最大の洪水被害が発生
2011年	ザルダリ大統領は実務訪問賓客として日本を訪問し、日パキスタン共同声明に署名
2013年10月	無償資金協力「空港保安強化計画」(約20億円) ※保安体制強化及びテロ対処能力向上に寄与
2014年6月	円借款「電力セクター改革プログラムローン」(50億円)(世銀とADBとの協調融資)
2016年5月	円借款「ポリオ撲滅計画(フェーズ2)」(62.9億円)(ゲイツ財団とのローンコンビネーションによる支援)

パキスタンに対する日本の経済協力は1954年の研修生受入れに始まり、その後の有償資金協力や無償資金協力による支援を含め、2013年では米英に次ぐ第3位の援助国となっている。



コンピュータ技術及び救助訓練の研修の様子



インダス・ハイウェイ建設計画(円借款)
パキスタンを縦断する全長約1,209kmの幹線道路。全長の約79%にあたる約956kmの建設を支援。



北部大震災に対する復旧復興支援のための学校建設



パキスタン支援国会合において、パキスタン政府の経済改革やテロ対策に向けた固い決意を評価しつつ、IMFプログラムの着実な実施を前提に10億ドルの支援を表明。



空港保安強化計画(無償)手荷物検査及び車両検査機材の供与。



パキスタン全域に対するポリオワクチンの調達資金を支援。パキスタン政府がポリオ予防接種キャンペーンを着実に実施した場合、ゲイツ財団がパキスタン政府の代わりに円借款を返済する予定。